

三重県がん対策推進計画
(第4期三重県がん対策戦略プラン)

年次報告書（平成30年度）

三重県医療保健部健康づくり課

目 次

1 がん予防

- (1) がんの1次予防の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) がんの早期発見の推進（2次予防）・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (3) がんの教育・県民運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2 がん医療の充実

- (1) 医療機関の整備と医療連携体制の構築、医科歯科連携の推進・・・・・・・・ 8
- (2) 手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法のさらなる充実と
チーム医療の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (3) 小児がん、AYA世代のがん対策・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (4) がん登録の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

3 がんとの共生

- (1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (2) 相談支援および情報提供の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援、在宅医療の推進・・・・・・・・ 17
- (4) がん患者の就労支援を含めた社会的な問題・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (5) ライフステージに応じたがん対策・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

1 がん予防

(1) がんの1次予防の推進

① 喫煙防止

＜平成30年度の主な取組＞

- 5月31日の世界禁煙デー等において、たばこが健康に及ぼす影響について啓発を実施しました。
- 特定健診・特定保健指導従事者を対象にした研修会において、禁煙支援の人材育成を行いました。
- 受動喫煙防止対策の一環として、「たばこの煙の無いお店」の認定を行っています。平成31年3月末までに504店を認定し、県のホームページなどで紹介しています。
- 平成30年7月、受動喫煙対策を強化する健康増進法が改正されました。第1種施設（行政機関等）は令和元年7月から、第2種施設（飲食店等）は令和2年4月から、望まない受動喫煙を防止するための対策が求められます。

禁煙週間



(指標進捗状況)

成人の喫煙率 : 12.0%

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	17.7%	未実施				
達成率						

※国民生活基礎調査

未成年者（15～19歳）の喫煙率 : 0%

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	男 1.4% 女 0%	未実施				
達成率						

※県民健康意識調査

「たばこの煙の無いお店」登録数 : 750店

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	428店	504店				
目標値		550店	600店	650店	700店	750店
達成率		91.6%				

行政機関の敷地内禁煙の実施率 : 県施設100%、市町施設100%

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県	—	未実施				
市町	—	未実施				
達成率						

(屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができる。)

(評価と対策)

- ・ 県及び保健所が主催するイベントや研修会等の機会を捉え、禁煙に関する啓発を進めます。
- ・ 改正健康増進法の施行に向け周知を行うとともに、制度の円滑な運用に向け保健所における助言・指導等の体制整備を進めます。

② 生活習慣の改善

<平成 30 年度の主な取組>

- ・ 食生活とがん予防に関する知識の普及のため、「みえ職フォーラム」等において、健康的な食生活の実現に向けてバランスのとれた食事に関する啓発を行いました。
- ・ 生活習慣病対策をはじめがん予防を推進するため、「健康づくり応援の店」登録店に対し、情報提供を行うほか、新規登録店舗数の増加に向け取り組みました。(健康づくり応援の店：累計 433 店舗)

(指標進捗状況)

1日あたりの平均脂肪エネルギー比率 (30～59 歳) : 25.0%

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	28.0%	未実施				
達成率						

※県民健康・栄養調査

成人 1日あたりの平均食塩摂取量 : 8.0 g

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	9.7 g	未実施				
達成率						

※県民健康・栄養調査

成人 1日あたりの平均野菜摂取量 : 350 g

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	244 g	未実施				
達成率						

※県民健康・栄養調査

肥満の人の割合 (30～49 歳男性) : 29.0%

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	28.7%	未実施				
達成率						

※県民健康・栄養調査

運動習慣者の割合 : 男性 45.0%、女性 37.0%

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	男 38.7% 女 30.9%	未実施				
達成率						

※県民健康意識調査

(評価と対策)

- 生活習慣病予防を進めることで、がん予防につながることから、引き続き多様な主体と連携し、生活習慣病予防に関する啓発を進めます。

③肝炎対策

<平成 30 年度の主な取組>

- 肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップや初回精密検査及び定期検査費用の助成を含む重症化予防事業を実施するとともに、インターフェロンフリー治療薬の医療費助成など、肝炎ウイルス罹患者の早期発見・早期治療を推進し、肝がん予防の促進に努めました。

(指標進捗状況)

肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率 : 80%

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	50%	40%				
達成率		50%				

(評価と対策)

- 保健所及び委託医療機関での無料検査の実施、陽性者のフォローアップ事業、初回精密検査・定期検査・治療に対する費用の助成等を受けてウイルス性肝炎の治療を行う人が増加しています。引き続き、肝炎対策の事業を継続するとともに、肝炎ウイルス検査の必要性や肝炎に関する正しい知識の啓発に努めることにより、肝がん予防を促進します。

(2) がんの早期発見の推進（2次予防）

＜平成30年度の主な取組＞

県立図書館での掲示

- ・ 9月のがん征圧月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間等において、がん検診の必要性や早期発見の重要性について啓発を実施しました。
- ・ 市町に対する担当者研修会の実施や補助金の交付など、がん検診受診率、精密検査受診率の向上のため市町の取り組みを支援しました。
- ・ 市町におけるがん検診の精度管理状況の確認及び、集団検診実施機関の精度管理をおこない、結果を通知するとともに、改善を促しました。



(指標進捗状況)

がん検診受診率 : 50%

三重県 (国)	現状	平成30年度 H29年度実績	令和元年度 H30年度実績	令和2年度 R元年度実績	令和3年度 R2年度実績	令和4年度 R3年度実績
乳がん	37.8% (26.1%)	41.1% (-)				
子宮頸がん	54.2% (32.0%)	47.8% (-)				
大腸がん	30.0% (19.2%)	26.8% (-)				
胃がん	9.8% (9.3%)	28.7% (-)				
肺がん	23.0% (16.1%)	23.4% (-)				

※地域保健・健康増進事業報告

- ・ 対象年齢：40（子宮頸がんは20）歳～69歳
- ・ H28年度からがん検診の実施内容の一部が以下のとおり変更
乳がん：視触診及び乳房エックス線検査（40歳以上）⇒乳房エックス線検査（40歳以上）
胃がん：胃部エックス線検査（40歳以上、年1回）
⇒胃部エックス線検査（40歳以上、年1回）又は胃内視鏡検査（50歳以上、2年に1回）
- ・ H29年度実績は試算値

(参考) 平成 28 年国民生活基礎調査によるがん検診受診率

	全国	三重県
乳がん	44.9%	47.4%
子宮がん	42.3%	44.2%
大腸がん	41.4%	42.5%
胃がん	40.9%	40.6%
肺がん	46.2%	45.6%

※3年に一度の調査であり、全都道府県の各地域を無作為に抽出。

- ・対象年齢：40（子宮頸がんは20）歳～69歳
- ・乳がん、子宮がん：過去2年間の受診有無
- ・大腸がん、胃がん、肺がん：過去1年間の受診有無

精密検査受診率 : 90%

三重県 (国)	現状	平成30年度 H27年度実績	令和元年度 H28年度実績	令和2年度 H29年度実績	令和3年度 H30年度実績	令和4年度 R元年度実績
乳がん	79.7% (84.9%)	85.2% (87.4%)				
子宮頸 がん	63.1% (70.5%)	73.1% (74.4%)				
大腸 がん	62.4% (67.4%)	67.5% (70.1%)				
胃がん	69.2% (80.7%)	66.3% (81.7%)				
肺がん	65.3% (79.2%)	77.3% (83.5%)				

※地域保健・健康増進事業報告

- ・対象年齢：40（子宮頸がんは20）歳～74歳

(評価と対応)

- ・多様な主体と連携しながら、受診率の向上に向け取り組みを行っています。指標である地域保健・健康増進事業報告における受診率は、概ね改善傾向にありますが、引き続きがん検診の重要性について啓発するとともに、効果的な受診勧奨等について市町を支援します。
- ・がんの早期発見・早期治療のためには、がん検診の精度管理が重要です。市町における

がん検診の適切な実施のための働きかけや、精密検査受診率の向上に向けた取組への支援など、がん検診の精度向上を進めます。

(3) がんの教育・県民運動

<平成30年度の主な取組>

- ・ 子どもの頃からがんに関する正しい知識を得ることができるよう、教育委員会と連携し、外部講師を活用したがん教育の取り組みを、7つの小学校、4つの中学校、2つの高等学校で実施しました。
- ・ 県民の健康づくりを社会全体で応援する環境づくりを進めるため「三重とこわか健康マイレージ事業」を開始し、県内全市町が取組に参加しました。

がん教育の様子



(指標進捗状況)

小・中学校におけるがん教育の実施回数 : 76校

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	16校	37校				
目標値		36校	46校	56校	66校	76校
達成率		102.8%				

(評価と対策)

- ・ 学習指導要領の改訂によるがん教育の全面実施（令和2年度小学校、令和3年度中学校、令和4年度高等学校）における円滑な導入に向け、県教育委員会と連携した取組を進めます。
- ・ 健康づくりの取組を一層推進するため、「三重とこわか県民健康会議」を設置し、企業、関係機関・団体、市町とのさらなる連携により、社会全体で健康づくりに取り組む機運を醸成していきます。

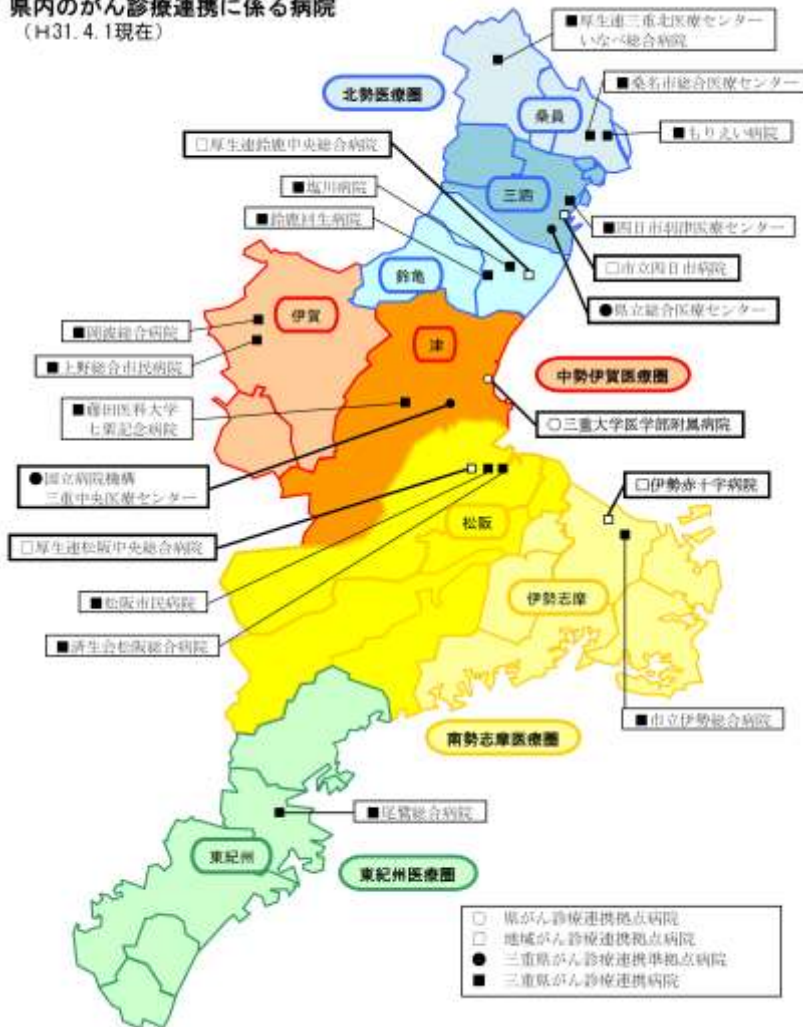
2 がん医療の充実

(1) 医療機関の整備と医療連携体制の構築、医科歯科連携の推進

<平成 30 年度の主な取組>

- ・ がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しが行われ、既指定の 4 病院の指定が更新されるとともに、新たに市立四日市病院が地域がん診療連携拠点病院に指定されました。
- ・ がんゲノム医療連携病院（全国 156 か所）に指定されている三重大学医学部附属病院において、がんゲノム医療中核拠点病院（全国 11 か所）と連携した医療提供体制が整備されています。
- ・ がん医療に携わる医療機関に対して施設・設備整備等に係る補助を行い、県内のがん医療提供体制の整備を推進しました。
- ・ がん患者医科歯科連携協定に基づき、がん患者の状態に応じた適切な口腔ケアや口腔管理等を行うことができる人材の育成を進めました。

県内のがん診療連携に係る病院
(H31.4.1現在)



県内のがん診療連携に係る病院（H31.4.1現在）

		国指定	県指定	
医療圏	構想区域	がん診療連携 拠点病院	三重県がん診療連携 準拠点病院	三重県がん診療 連携病院
北勢	桑員			3か所
	三泗	(地域) 1か所	1か所	1か所
	鈴亀	(地域) 1か所		2か所
中勢	津	(県) 1か所	1か所	1か所
	伊賀			2か所
南勢志摩	松阪	(地域) 1か所		2か所
	伊勢志摩	(地域) 1か所		1か所
東紀州				1か所
		5か所	2か所	13か所

(指標進捗状況)

がんによる年齢調整死亡率（75歳未満）： 全国平均より10%以上低い状態

	現状	平成30年度 H29年実績	令和元年度 H30年実績	令和2年度 R元年実績	令和3年度 R2年実績	令和4年度 R3年実績
全国平均	76.1	73.6				
目標値	68.5	66.2				
三重県	69.0	67.4				
達成率		98.2%				

※国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

三重医療安心ネットワークへの登録患者数： 22,400人

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	14,069人	19,610人				
目標値		16,800人	18,200人	19,600人	21,000人	22,400人
達成率		116.7%				

拠点病院・準拠点病院の指定数 : 10 病院

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	6 病院	7 病院				
達成率		70.0%				

全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、手術前患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数 : 318 人

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	268 人	280 人				
目標値		278 人	288 人	298 人	308 人	318 人
達成率		100.7%				

全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、終末期・在宅がん患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数 : 193 人

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	143 人	152 人				
目標値		153 人	163 人	173 人	183 人	193 人
達成率		99.3%				

三重県がんリハビリテーション研修会実行委員会によるがんリハビリテーション研修会の開催回数 : 9 回

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	3 回	5 回				
目標値		5 回	6 回	7 階	8 回	9 回
達成率		100.0%				

(評価と対応)

- ・ 拠点病院、準拠点病院の指定のない地域におけるがん医療連携体制について検討を進めます。
- ・ 今後、整備が予定されている、がんゲノム医療拠点病院など、県内のがんゲノム医療提供体制の構築を進めます。

(2) 手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法のさらなる充実とチーム医療の推進

<平成30年度の主な取組>

- ・ 拠点病院および準拠点病院において、放射線療法、化学療法、手術療法等を組み合わせた集学的治療を推進するため、専門資格を有する医師や看護師、薬剤師等の配置に向け、働きかけを行いました。
- ・ がんにおける質の高い看護師育成研修を実施し、充実した看護ケアの提供ができる臨床実践能力の高い看護師の育成を進めました。

(指標進捗状況)

拠点病院・準拠点病院におけるチーム医療体制の整備数 : 10 病院

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	6病院	7病院				
達成率		70.0%				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本放射線腫瘍学会が認定する放射線治療専門医数 : 10 病院 10 人

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	4病院9人	6病院9人				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本臨床腫瘍学会が認定するがん薬物療法専門医数 : 10 病院 10 人

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	4病院7人	3病院7人				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本がん治療認定医機構が認定するがん治療認定医数 : 10 病院 100 人

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	6病院71人	7病院74人				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院の外来化学療法室等における日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師数 : 10 病院 10 人

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	2 病院 5 人	2 病院 4 人				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）数。また、日本看護協会が認定する認定看護師（がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）数 : 専門看護師 10 病院 10 人、認定看護師 10 病院 50 人

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	専門看護師 5 病院 6 人	専門看護師 6 病院 9 人				
	認定看護師 6 病院 23 人	認定看護師 7 病院 23 人				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

(評価と対応)

- ・引き続き、拠点病院および準拠点病院への専門資格を有する医師や看護師、薬剤師等の配置に向け、働きかけを行います。

(3) 小児がん、AYA世代のがん対策

<平成 30 年度の主な取組>

- ・小児がん拠点病院の指定要件の見直しが行われ、既指定の三重大学医学部附属病院の指定が更新されました。(全国 15 か所)

(指標進捗状況)

三重大学医学部附属病院で育成する日本小児血液・がん学会が認定する小児血液・がん専門医数 : 7 人

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	4 人	4 人				
目標値		5 人	5 人	6 人	6 人	7 人
達成率		80.0%				

(評価と対応)

- ・ 今後、整備が予定されている、小児がん連携病院など、県内の小児がん診療体制の構築を進めます。

(4) がん登録の推進

<平成 30 年度の主な取組>

- ・ 2016 年 1 月から開始された全国がん登録に基づき、国立がん研究センターから全国がん罹患数 2016 年速報が公表されました。2016 年の三重県のがん罹患数は 14,277 人(男性 8,176 人、女性 6,099 人)、年齢調整罹患率は 389.6 (全国 402.0) でした。
- ・ 医療機関のがん登録担当者に対する全国がん登録研修会を、県内 7 か所で実施しました。
- ・ 全国がん登録情報の届出を行う指定診療所が、210 施設となりました。(平成 31 年 1 月 1 日現在)

三重県地域がん登録の状況

登録年	DCN割合※1	DCO割合※2	罹患数
2013	9.7	7.9	12,047 件
2014	8.4	6.3	12,570 件

※1 Death Certificate Notifications (死亡診断書により初めてがんを把握)

※2 Death Certificate Only (死亡診断書以外の情報がない)

精度基準 A : DCN20%未満かつDCO10%未満

全国がん登録実務担当者研修会開催状況

医療機関名	開催日
鈴鹿中央総合病院	平成 30 年 8 月 2 日 (木)
三重大学医学部附属病院	平成 30 年 8 月 6 日 (月)
県立総合医療センター	平成 30 年 8 月 13 日 (月)
三重中央医療センター	平成 30 年 8 月 16 日 (木)
松阪中央総合病院	平成 30 年 8 月 20 日 (月)
岡波総合病院	平成 30 年 8 月 27 日 (月)
伊勢赤十字病院	平成 30 年 8 月 30 日 (木)

(指標進捗状況)

がん登録研修会の参加者数 : 681 人

	現状	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
三重県	81 人	205 人				
目標値		281 人	381 人	481 人	581 人	681 人
達成率		73.0%				

(評価と対応)

- ・ がん登録により得られた情報の分析・評価を行うとともに、がん対策の企画立案の基礎データとして活用し、科学的根拠に基づくがん対策を推進します。

3 がんととの共生

(1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

＜平成 30 年度の主な取組＞

- ・ 拠点病院等が実施主体となり、医師、看護師等を対象とした緩和ケア研修が県内 7 か所で実施されました。なお、平成 30 年度から、e-learning を活用した研修が開始されました。
- ・ 鈴鹿中央総合病院に対して緩和ケア病棟整備に係る補助を行いました。県内の緩和ケア病棟は 8 施設 169 床となりました。

緩和ケア研修会開催状況

医療機関名	開催日
三重大学医学部附属病院	平成 30 年 5 月 26 日（土）、27 日（日）
県立総合医療センター	平成 30 年 6 月 3 日（日）、10 日（日）
松阪中央総合病院	平成 30 年 7 月 14 日（土）、15 日（日）
市立四日市病院	平成 30 年 7 月 21 日（土）、22 日（日）
三重大学医学部附属病院	平成 30 年 11 月 11 日（日）※
三重中央医療センター	平成 30 年 12 月 15 日（土）※
鈴鹿中央総合病院	平成 31 年 1 月 19 日（土）※
伊勢赤十字病院	平成 31 年 1 月 27 日（日）※

※e-learning と集合研修 1 日間で構成される研修

県内の緩和ケア病棟を持つ病院

病院名	病床数
もりえい病院（桑名市）	20 床
みたき総合病院（四日市市）	25 床
鈴鹿中央総合病院（鈴鹿市）	20 床
藤田医科大学七栗記念病院（津市）	20 床
松阪市民病院（松阪市）	20 床
松阪厚生病院（松阪市）	20 床
済生会松阪総合病院（松阪市）	24 床
伊勢赤十字病院（伊勢市）	20 床
計 8 施設	169 床

(指標進捗状況)

メディカルスタッフを対象とした緩和ケア研修の実施箇所数 : 10 か所

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	8か所	7か所				
達成率		70.0%				

がん医療に携わる医師の9割以上が緩和ケア研修を修了している拠点病院・準拠点病院数 : 10 病院

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	2病院	7病院				
達成率		70.0%				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

拠点病院・準拠点病院における緩和医療学会が認定する専門医または暫定指導医もしくは認定医数 : 10 病院 10 人

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	3病院3人	3病院3人				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

(評価と対応)

- ・ がんと診断された時から緩和ケアが適切に提供されるよう、各医療機関において実施される緩和ケア研修を引き続き支援します。

(2) 相談支援および情報提供の充実

<平成30年度の主な取組>

- ・ 県がん相談支援センターにおいて、相談や情報提供を行うとともに、がん患者の療養生活やその家族を支援するため、セミナーの開催、がん患者・家族間の情報交換、交流の場の提供を目的としたサロンを県内各地域で開催しました。また、サポーター研修を実施し、ピアサポーター等の養成に取り組みました。
- ・ 各がん診療連携拠点病院等の相談員で構成される「三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会」における研修会の実施など、相談員の資質向上に取り組みました。

(指標進捗状況)

地域におけるがんサロンの運営数 : 8か所

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	7か所	7か所				
達成率		87.5%				

拠点病院、準拠点病院および三重県がん相談支援センターにおける国立がん研究センター主催の「相談支援センター相談員基礎研修(3)」の修了者数 : 31名

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	17名	29名				
達成率		93.5%				

※がん診療連携拠点病院現況報告書、三重県がん診療連携準拠点病院現況報告書

三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会によるがん相談員研修会の開催回数 : 7回

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	1回	3回				
目標値		3回	4回	5回	6回	7回
達成率		100.0%				

(評価と対応)

- ・ 医療機関から独立した組織でがん相談を行える機関として、三重県がん相談支援センターにおいて、引き続き、患者とその家族への相談対応を行うとともに、認知度の向上を図ります。

(3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援、在宅医療の推進

<平成30年度の主な取組>

- ・ 三重医療安心ネットワークの体制整備に係る補助を行い、多職種連携による病病・病診連携体制の整備を推進しました。参加機関の増加に伴い、地域における医療機関等のネットワークの連携が促進されました。

(指標進捗状況)

がん患者の在宅(介護老人保健施設、老人ホーム、自宅)死亡割合 : 21.0%

	現状	平成30年度 H29年調査	令和元年度 H30年調査	令和2年度 R元年調査	令和3年度 R2年調査	令和4年度 R3年調査
三重県	16.5%	16.5%				
達成率		78.6%				

※人口動態統計

(評価と対応)

- ・ 三重医療安心ネットワークへの参加機関の増加にあわせ、登録患者数も増加しています。引き続き、ネットワークへの参加及び利用を促進し、県内の安心・安全かつ切れ目の無い医療提供体制の充実に努めます。

(4) がん患者の就労を含めた社会的な問題

<平成30年度の主な取組>

- ・ がんに罹患しても治療しながら就労することを支援するため、社会保険労務士による就労相談を実施するとともに、職場でのがんに対する正しい知識の普及を図るため、事業者に対し、がん患者の就労支援に関する啓発を実施しました。

(指標進捗状況)

がん患者等の就労について理解を得られた事業者数 : 1,922社

	現状	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県	482社	1,045社				
目標値		962社	1,202社	1,442社	1,682社	1,922社
達成率		108.6%				

(評価と対応)

- ・ がんを取り巻く環境の変化に伴い、就労しながらがん治療ができるよう、引き続き社会保険労務士による相談や、治療と仕事の両立支援に向けた啓発に取り組みます。
- ・ 三重労働局により設置された「三重県地域両立支援推進チーム」において、労働局や医療機関、労働関係団体等と連携し、啓発を実施します。

(5) ライフステージに応じたがん対策

<平成 30 年度の主な取組>

- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院である三重大学医学部附属病院を中心に、「三重がん生殖医療ネットワーク」を構築し、治療に伴う生殖機能等への影響等、治療前に正確な情報提供が行われるよう、啓発を実施しました。

(評価と対応)

- ・ 将来子どもを産み育てることを望む小児、思春期・若年がん患者の経済的負担の軽減を図るため、がん治療開始前の妊孕性温存治療に要する費用の一部を助成します。
- ・ 高校教育段階の入院生徒等に対する教育保障体制の整備について、学校・病院・教育委員会等と連携して教育機会の確保に関する検討を行います。